

2021年KSBLジュニア交流大会 大会規定

【目的】

この大会は、新4年生以下の球児達が、多くの仲間と交流を持ち、勝負にこだわらず、野球を楽しむことを目的とする。

- ① この大会は「公認野球規則」及び「全日本軟式野球連盟競技者必携・学童野球に関する事項」及び当大会規則により行う。
- ② **選手の集合は試合開始予定時間45分前とし、主将はメンバー表4部を提出し先行後攻のトスを行う。**
ベンチは若番が1塁側とする。ただし本部の指示が優先する。ベンチに入れる指導者はスコアラーを含めて5人までとする。
投球練習は初回及び交代時は7球以内、その他は3球以内とする。
シートノックは4分とする。(天候等の状況によって行わない場合がある)
監督に抗議権はない。ただしプレーの確認はできる。
ホームランラインは原則として60メートル以上とする。会場によっては本部の指示に従うこと。
大会会場には責任者を必ず配置すること。
- ③ 審判は相互審判を原則とする。服装は連盟の審判服を着用すること。
- ④ 雨天中止の決定は午前7時30分とする。各チームは大会本部に確認すること。
- ⑤ 試合球は出来る限り本部で用意するが、準備が出来ていない場合は本部の指示で試合チームから試合球の提供を求める事があるので用意すること。
- ⑥ グラウンドで発生した負傷は、主催者では一切その責任は持たない。
各チームで責任を持って対応して下さい。
- ⑦ ボークは、適用しないが攻撃側が不利益を被ったと審判員が、判断した場合はノーカウントとして走者を戻し監督と走者に指導する。
- ⑧ 夏季期間は給水タイムを適切なイニング間で設けること。タイマーは停止される。

【リーグ戦】

4回終了で試合成立とする。

試合は、70分、6回戦とする。6回終了時、同点の場合は引き分けとする。

塁間は21メートル、バッテリー間は14メートルとする。

1イニング5点を取れば攻守交代をする。得点コールドゲームはなし。

(例) 攻撃側が3点を取り、その後3ランホームランが出て6点となったとしても、スコアは5点として記録し、審判員はプレイが落ち着いてからボールデッドとして攻守交替をする。降雨、日没等、審判団協議により試合続行不可能となった場合は、**4回終了時後**であれば試合は成立する。

勝ち点方式とする。勝ち点は3点、引き分け1点、負け0点とする。

①勝ち点②失点の少ない③得点の多い順で決定する。

【決勝トーナメント】※注意参照

4回終了で試合成立とする。

試合は、70分、6回戦とする

6回終了時、同点の場合は、タイブレーク(無死満塁ルール)を1回行う。

それでも同点の場合は、最終インニング出場の18人で抽選により勝敗を決める。

【注意】

会長又は執行部の判断により大会の中止及び決勝トーナメントは行わない場合がある。